

グリーンファイナンス・フレームワーク（概要版）

2024.07.31

コスモエネルギーホールディングス株式会社

グリーンファイナンス・フレームワークの概要

- 当社グループは、2050年にScope3を含めたカーボンネットゼロを目指すための資金調達を行うため、ICMA（国際資本市場協会）が定める原則や環境省が作成するガイドライン等に則り、グリーンファイナンス（債券およびローン）を実行可能なグリーンファイナンス・フレームワークを策定しました。本フレームワークについて、2024年7月31日に外部評価機関である格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しました。

Vision 2030

未来を変えるエネルギー、社会を支えるエネルギー、新たな価値を創造する。



グリーン電力
サプライチェーン強化

発電～需給調整～売電
サプライチェーン高付加価値化



次世代エネルギー拡大

SAF供給、水素および
他エネルギーの取り組み



石油事業の競争力強化・
低炭素化

デジタルプラント化などによる競争力強化、
CCS/CCUSによる低炭素化

当社グループはVision 2030として「未来を変えるエネルギー、社会を支えるエネルギー、新たな価値を創造する。」というスローガンを掲げ、3つの施策に取り組んでいます。

このうち主に「グリーン電力サプライチェーン強化」と「次世代エネルギー拡大」に関する施策を資金使途としたグリーンファイナンス・フレームワークを策定しました。

グリーンファイナンス・フレームワークの概要

1 調達資金の使途

- グリーンファイナンスで調達された資金は以下の適格クライテリアに該当するプロジェクト（適格プロジェクト）に対する新規投資及びリファイナンスに充当される予定です。

カーボンネットゼロに向けた重点取り組みテーマ		
	適格クライテリア（適格カテゴリー）	対象事業例（※対象事業は、当社グループ各社の支出を含む）
グリーン電力 サプライチェーン 強化	再生可能エネルギー ・洋上/陸上風力、太陽光 （再生可能エネルギー）	2030年で再生可能発電設備容量2,000MW超に向けた風力、太陽光発電事業に関する支出 （開発、設備、運営、出資、改修等）
	EV （クリーン輸送）	コスモMyカーリース、コスモ・ゼロカーボンソリューションでのEV導入に関する支出 （開発、設備、運営、出資）
	蓄電 （再生可能エネルギー）	2030年蓄電導入量500MW構築に向けた支出（主に系統用蓄電池） （開発、設備、運営、出資）
次世代エネルギー/ 原料/CCS・CCUS への取り組み	SAF （環境適応製品）	2030年でSAF30万KL供給に向けたSAF製造に関する支出（廃食用油原料、ATJ技術活用） （開発、設備、運営、出資）
	水素及び次世代エネルギー ・水素サプライチェーン ・合成燃料	水素サプライチェーン構築に関する支出（主に水素ステーション整備や水素製造） （開発、設備、運営、出資）
	・バイオディーゼル ・バイオエンジンオイル （環境適応製品）	カーボンリサイクルやバイオマス製品の製造に関する支出 （開発、設備、運営、出資等）
	ケミカルリサイクル （汚染防止及び抑制）	廃プラスチックを活用したケミカルリサイクル製品の供給に向けた支出 （開発、設備、運営、出資）
	CCS/CCUS （環境適応製品）	主要な装置におけるCO2回収とその活用に向けた支出 （開発、出資）

グリーンファイナンス・フレームワークの概要

2 プロジェクトの評価及び選定のプロセス

- 資金用途とする適格プロジェクトは、財務部門が適格クライテリア及び対象事業に基づいてプロジェクトの候補を選定し、財務部門及び社内関係部門で協議を行い、最終決定は、財務担当役員が行います。

3 調達資金の管理

- グリーンファイナンスによる調達資金は、財務部門において手取り金と適格プロジェクトにかかる支出が同額となるよう、資金の充当額及び未充当額を追跡します。当社グループの子会社が実施主体となるプロジェクトも同様に管理します。
- 調達資金の管理については、専用の帳簿を作成し管理します。
- 未充当資金がある場合には、現金または現金同等物にて管理します。

4 レポーティング

- グリーンファイナンスによる調達資金の全額が充当されるまでの期間、守秘義務の範囲内、かつ合理的に実行可能な限りにおいて、調達資金の充当状況及び環境改善効果として当社が定めた内容について、統合報告書（コスモレポート）または当社ウェブサイトにて年次で開示する予定です。ファイナンス期間中、資金充当状況および充当先プロジェクトに重大な変化があった場合には、その旨開示する予定です。（ローンの場合は、開示を貸し手に限定することもあります）。

資金充当のレポーティング

- 以下の内容について、カーボンネットゼロに向けた重点取り組みテーマに応じて開示する予定です。
 - ・ 充当金額
 - ・ 未充当金額の残高及び運用方法
 - ・ 調達資金のうちリファイナンスに充当された部分の概算額（または割合）

グリーンファイナンス・フレームワークの概要

インパクト・レポーティング

- インパクト・レポーティングに際しては、資金充当した適格クライテリアに応じて下記に例示された内容の全てまたは一部を開示する予定ですが、対象事業に応じて変更することがあります。なお、環境改善効果については、可能な限りCO2排出削減量等の定量的な開示を目指すものの、対象事業の状況や性質により定量的な開示が困難な場合、定性的な開示を実施することがあります。

適格クライテリア	レポーティング項目
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要・進捗状況■ 設備容量 (MW) または発電実績 (kwh)■ CO2削減量/削減貢献量 (t-CO2)
EV	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要・進捗状況■ CO2削減量/削減貢献量 (t-CO2)
蓄電	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要・進捗状況■ 蓄電容量 (MW)
SAF	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要・進捗状況■ 製品生産量 (KL)■ CO2削減量/削減貢献量 (t-CO2)
水素および次世代エネルギー	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要・進捗状況■ 水素/製品供給量■ CO2排出削減量/削減貢献量 (t-CO2)
ケミカルリサイクル	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要・進捗状況■ 製品供給量/廃棄物削減量
CCS/CCUS	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要・進捗状況■ CCS/CCUS設置状況



COSMOはコスモエネルギーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。

各コスモ製品の商品名・サービス名はコスモエネルギーホールディングス株式会社またはグループ各社の登録商標または商標です。その他の製品および会社名は、各社の商号、登録商標または商標です。